

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいの家 祝町

作成日: 平成 28 年 12 月 3 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	消防署の協力を得て定期的に避難訓練を実施しているが、夜間体制の中、消防車が到着するまでに、2ユニット18名の利用者全員を迅速に安全に、避難場所まで誘導する体制づくりを目指していく。	夜勤者2名で、冷静に自信をもって利用者全員18名を一時避難場所までスムーズに誘導できる様に、日常的に避難訓練を実施し、マニュアルに基づいた避難誘導ができる体制の確立に取り組んでいく。	12ヶ月
2	1	理念の共有と実践	事業所の玄関に法人理念と事業所独自の理念を掲示しているが、理念を唱和したり、職員会議の中で理念の意義を話合ったりして、理念が実践できているかを確認し、利用者が安心して暮らせるホームを目指していく。	申し送りや職員会議の中で理念について話し合い、もう一度、理念の意識づけを行い、介護方針を職員一人ひとりが理解して実践し、常に理念を意識した介護サービスに取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					
5					ヶ月